

I support LGBTQ, Diversity, Equity and Inclusion.



LGBTQを含めたすべての子どもが ありのままで大人になれる社会へ

団体名には「少しずつ(Bit)」を「何度でも(Re)」繰り返すことにより社会が前進してほしい、という願いが込められています。

<ご寄付のお願い>

ReBitの活動をより一層広げるために、ご寄付をお願いしています。
いただいたご寄付はReBitの運営や活動に用いられます。

●継続的に支援する(にじいろバトンのメンバーになる)
<https://rebitlgbt.org/support/nijiroboton>



●今回だけ寄付する

(web) https://rebitlgbt.org/support/oneoff_donate

(お振込) 三井住友銀行 武蔵境支店

普通預金 0596883

特定非営利活動法人ReBit

※(クヒ)リビットと表示されます



認定特定非営利活動法人ReBit

代表理事 薬師実芳

設立 2009年12月1日(2014年3月3日に法人格取得)

住所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-26-2

新宿カメヤビル4階

電話/FAX 03-6278-9909

●メールアドレス info@rebitlgbt.org

●ホームページ <https://rebitlgbt.org>

●Twitter @Re__Bit

●Instagram @re__bit

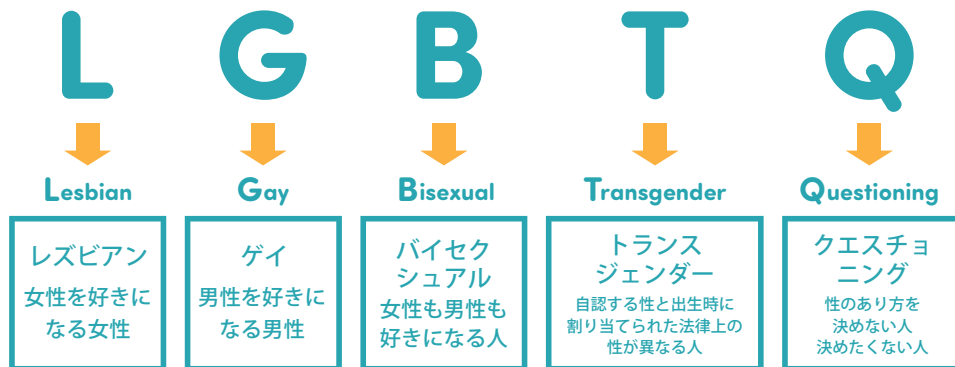
●Facebook <https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT/>



LGBTQ とは？

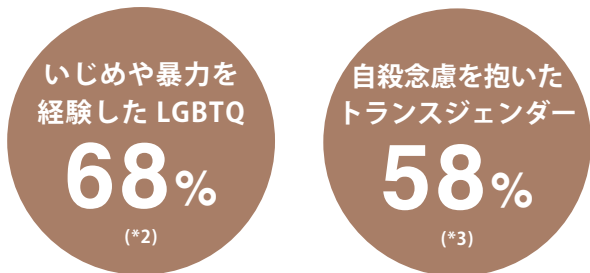
国内の調査ではLGBTQは約3～10%いるといわれています(*1)。

5つの頭文字からなり、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)を指す言葉としても使われます。この他にも多様なセクシュアリティが存在します。

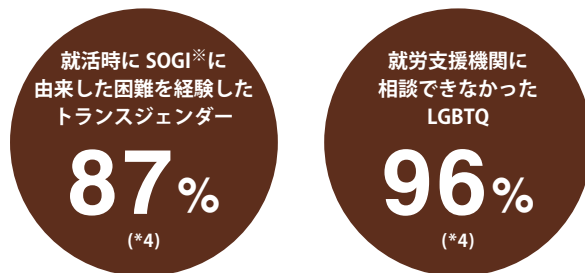


LGBTQ の子ども・若者の現状

学校生活での困難



就職活動での困難



※性的指向や性自認

ReBit が取り組む事業

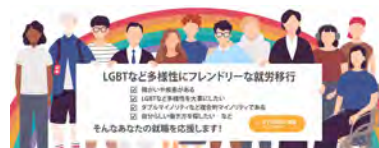
教育事業

- 1 授業/研修**
学校/行政等で、子どもや教職員/行政職員等へ多様な性に関する授業/研修を1200回、15万人以上に提供。
- 2 教材制作**
行政/出版社等と共に、多様な性についての書籍/映像等の制作。
書籍:『LGBTってなんだろう? : 自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性』(合同出版) 『ふつうってなんだ? -LGBTについて知る本-』(学研プラス)
教材:『中学校版Ally Teacher's Tool Kit』『小学校高学年版Ally Teacher's Tool Kit』(2019年度グッドデザイン賞受賞)
- 3 講師育成/教員応援**
先生のためのLGBTQに関するオンライン情報サイト (<https://allyteachers.org>) や、オンラインコミュニティの運営。



キャリア事業

- 1 キャリア支援/イベント運営**
LGBTQのキャリア支援を、5000人以上に提供。
また、ダイバーシティと就労に関する国内最大級のキャリアフォーラム「DIVERSITY CAREER FORUM」を開催。(後援:厚生労働省、文部科学省、他。出展企業50社以上)
- 2 就労移行支援(障害福祉サービス)**
LGBTQは精神障害における高リスク層。一方で、福祉サービス利用時に76%がSOGIに由来した困難を経験(*5)。国内初、精神・発達障害があるLGBTQを主対象とした、就労移行支援事業所※「ダイバーシティキャリアセンター」を東京都に設立。 ※障害がある人の就活支援をする福祉サービス
▼<https://diversitycareer.org>
- 3 企業・行政研修/コンサル**
LGBTQやダイバーシティについての企業研修を年間約100回実施。
また、職場制度やガイドラインづくり、商品開発等に関するコンサルテーションを実施。
- 4 就労支援者育成/資材制作**
就労支援者や福祉従事者等に向けた、研修や資材作成、オンラインコミュニティを運営。



(*1) 「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム (2019) 「大阪府民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」では LGBT が T が 2.7%、LGBT A が 3.3%、「決めたくない・決めていない」を含めると 8.2%。日本労働組合総連合会 (2016) 「LGBT に関する職場の意識調査」では LGBT 等 (性的マイノリティ) 当事者が 8.0%。株式会社 LGBT 総合研究所 (2016) 「LGBT に関する意識調査」では LGBT が 5.9%。LGBT を含めたセクシュアルマイノリティが 8.0%。電通ダイバーシティラボ (2018) 「LGBT 調査 2018」では LGBT を含む性的少数者 (セクシュアル・マイノリティ) が 8.9%。日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」(2018) 「多様な性と生活についてのアンケート調査」では LGBTQ が 10.0%。若手県高校教育研究会学校保健部会・いわて恵春期研究会 (2013) 「高校生の性と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが 10.1% などがある。
(*2) いのちのりすべくと。ホワイトリボン・キャンペーン (2014) 平成 25 年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBT の学校生活に関する実態調査 (2013)」
(*3) 中塚幹也 (2017) 『封じ込められた子ども、その心を聴く: 性同一性障害の生徒に向き合う』ふくろう出版 (*4) 認定特定非営利活動法人 ReBit (2019) 「LGBT や性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状」
(*5) 認定特定非営利活動法人 ReBit (2021) 「精神・発達障害がある性的マイノリティの就職活動に関するアンケート」